



創立記念日にあたって

宮城県宮城第一高等学校

1 開校からの歩み

本校は、明治30年（1897年）4月12日、今から123年前に「仙台市高等女学校」として仙台市東二番丁の地に開校しました。明治33年4月に宮城県に移管され「宮城県高等女学校」と改称し、その後も幾度か改称し校地の移転を行いました。昭和23年4月には学制改革により「宮城県第一女子高等学校」と改称し、昭和28年7月25日に北六番丁から八幡一丁目（旧中島丁）の現在地に移転しました。

平成9年度には創立100周年を迎えるとともに、普通科に加えて新たに理数科を設置し、平成14年度から4年間は文部科学省からスーパー・サイエンス・ハイスクール（SSH）の指定を受けました。平成20年4月からは男女共学への移行にあわせて「宮城県宮城第一高等学校」に改称するとともに、進学重視型単位制高等学校となりました。SSHなどの経験を生かし、自他や真理を尊ぶ精神の昂揚などを目指して国際理解教育や高大連携に力を入れており、姉妹校である英国シティ・オブ・ロンドン・フリーメンズスクールや研修旅行先の台湾台南第一高級中学などとの生徒交流、大学教授や著名な社会人を招聘した講演会の開催などを積極的に行っています。

令和3年度の今日、開校124周年目を迎え、この3月で32,978名（高等学校としては25,355名）の卒業生を輩出し、海外も含め社会の様々な分野で皆さんの先輩が活躍しています。著名な卒業生としては、ハリー・ポッターシリーズ訳者の松岡佑子氏、東大名誉教授で現東京理科大学教授の黒田玲子氏などがいます。

2 宮一の今

令和3年度となった現在、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響がまだ続いている状況ですが、4月8日に第76回入学式を挙行することができ、各年次普通科5学級と理数科2学級で計7学級、全年次で21学級の836名の在籍となりました。生徒の皆さんは、感染拡大防止のためのマスク着用や三密を避けるための活動制限など不自由な状況が続いています。しかし、このような時だからこそ「自主自律」の精神で、出来ることや成すべきことに全力で取り組んでもらいたいと思います。これからの学校生活は先がまだ見えない状況が続いておりますが、教職員・生徒が知恵を出しながらこの困難を乗り越えていければと願っています。

3 未来へ

現在、校舎の老朽化に伴い、令和5年（2023年）夏の供用を目指して校舎改築に係る工事が進められています。昨年8月からは仮設校舎での学校生活が行われており、現在旧校舎の解体工事が進められています。学習環境が変わっても、自らの進路実現を目指し、未来を拓いていく気概を持って、日々悔いのないよう過ごしていただきたいと思います。

創立記念日にあたり、これまでの歴史と伝統に思いを馳せるとともに、未来に向けて各自の志を再確認しましょう。



仮設校舎（令和2年8月から使用）